

島崎敏樹 としまき 精神病理學者。大正元年十一月八日長野縣生れ、昭和五十年三月十七日歿（一九二一七五）。昭和十一年東京帝國大學醫學部卒。松澤病院勤務。十九年東京醫科齒科大學精神科初代教授。

著書 『感情の世界』（昭和二十七年五月十日岩波書店「岩波新書」）、
『病める人間像』（昭和二十二年十一月二十五日大日本雄弁會講談社
「ミリオン・ブックス」）、『心で見る世界』（昭和二十五年一月十日
八日岩波書店「岩波新書」）、『心の風物誌』（昭和二十八年一月一日
十五日岩波書店「岩波新書」）、『幻想の現代』（昭和四十二年六月
二十日岩波書店「岩波新書」）、『生きるとは何か』（昭和四十九年
一月二十一日岩波書店「岩波新書」）、『思ひ出の本』（合著、昭和
五十九年十月十五日出版ニューズ社）等。譯書、ヤヌペル著『精神
病理學總論』全三冊（共譯、昭和二十八年十月十日—二十一年二月二
十一日岩波書店）刊。